

利府町上下水道事業包括的民間委託
「行革甲子園 2026」にて【上下水道革新大賞】を受賞



■開催日時：令和8年8月28日（金）12時30分から17時00分

■開催場所：松山市民会館「中ホール」

■主催：愛媛県

利府町は、令和8年8月28日（金）に愛媛県松山市で開催された「行革甲子園 2026」において、「利府町上下水道事業包括的民間委託」の取組事例を発表し、【上下水道革新大賞】を受賞しました。

「行革甲子園」は、愛媛県が主催する全国の市区町村による行政改革の先進的・独創的な取組を発表・表彰する大会です。今年度は全国から89事例の応募があった中、書類審査を通過した6団体によるプレゼンテーションが行われ、学識経験者・有識者・愛媛県知事による厳正な審査のもと、各賞が決定しました。

利府町の「上下水道事業包括的民間委託」は、国が提言する水の官民連携レベル3.5（管理・更新一体マネジメント方式）に基づき、全国で初めて上下水道一体型で取り組んだ先進的な官民連携事業です。

これまで個別に委託していた水道施設維持管理・公共下水道施設維持管理・料金徴収・窓口業務・コンサルタント業務を一括して民間事業者へ委託し、令和7年4月から令和17年3月までの10年間の長期契約のもと運営しています。

なお、施設の運営権・料金設定・整備方針の決定など事業の根幹は引き続き町が担い、民間の創意工夫と行政の責任を両立させた仕組みとなっています。

この取組の背景には、全国の多くの自治体が直面している施設の老朽化や技術者不足・人材確保の困難さがあります。利府町では、民間事業者のノウハウを最大限に活用することで、将来にわたって安全で安定した上下水道サービスを町民に提供し続けることを目指します。

<報道機関からのお問合せ先>

■ 宮城県利府町上下水道部上下水道課経営係：022-767-2126

■その他：

1. 行革甲子園チラシ
2. 行革甲子園6団体の発表事例概要

（別紙）発表事例（6事例）の概要

事 例 名	概 要
【利府町】 （宮城県） 全国初！水の官民連携レベル3.5による上下水道事業包括的民間委託	上下水道事業のヒト・モノ・カネの課題を解決するため、「 <u>管理・更新一体マネジメント方式</u> 」の更新支援型による上下水道事業の包括的民間委託を開始。 更新・維持管理計画の立案や、町が発注する工事の施工監理までを委託することで、円滑な業務運営や職員がコアな業務に専念すること等を可能に。
【福井市】 （福井県） 「強制しない」が成果を生む、ナッジを活用した行政改革	<u>ナッジ理論（※）を政策立案に導入し、若手職員主体で低コストの施策改善を継続的に実施。</u> これまでに36件の活用事例を創出し、大腸がん検診受診率を3.4ポイント向上させるなどの成果を挙げている。 <u>事例やプロセスを全国に共有し、横展開も進む中、行政の意思決定や組織文化の変化につなげている。</u> ※ナッジ理論：強制や罰則によらず、人の心理的特性を踏まえて、行動を自発的に望ましい方向へ促す手法
【塩尻市】 （長野県） 「教育委員会が学校へ引っ越し！？」現場の心に火をつける学校の働き方改革	<u>教育委員会と学校現場の組織の枠を超えた「対話型伴走支援」を実践し、「学校主体の持続可能な改革」を推進。</u> 学校現場に飛び込み、課題を共有し、共に考える「現場密着型伴走支援」や校務DXを加速させる「重層的な支援体制」を構築。
【宇和島市】 （愛媛県） 地域の持続可能性の確保に向けた郵便局の利活用推進事業（郵便局におけるオンライン診療・服薬指導事業）	<u>中山間地域や有人離島における医療アクセスの向上を目的に、身近な拠点である郵便局にオンライン診療ブースを設置。</u> IT機器操作に不安を抱える高齢者のために、郵便局員が対面で接続サポートを行うことで、 <u>地域住民が安心して医療を受けられる「コミュニティ・ハブ」としての郵便局の有効性を実証し、既存事業と組み合わせることで、多機能な行政・生活サービス拠点化を図った。</u>
【北九州市】 （福岡県） 若者を「支援対象」から「共創パートナー」へ — 全国初「Z世代課」が挑む、行政のアップデート —	「日本一若者を応援するまち」の実現を目指し、 <u>全国初となる「Z世代課」を設置。</u> <u>若者を「支援対象」ではなく、「共創パートナー」として位置づけ、若者視点を行政・地域・企業の取組に反映させる新たな行政モデルを推進。</u> 全国の若者から自由なアイデアを募集し、実現まで伴走支援するコンテストや、若者を市政・民間事業へ派遣する「Z世代課パートナーズ」を展開。
【山鹿市】 （熊本県） 事務処理特例制度でルールを変えよう！！ ～失敗もひとつの成果、まずはやってみよう～	組織・職員が”失敗を恐れず、前向きに挑戦すること”や”社会情勢・環境の変化に柔軟に適応すること”を後押しするために、期間を限定し、既存の規制（条例以外の規則、訓令等の例規）の適用を受けることなく、 <u>新しい取組（簡素化した手続など）に、迅速にチャレンジすることを可能とする事務処理特例制度（事務処理の特例に関する規則等）を創設し、業務改善に取り組んでいる。</u>

行革甲子園

題字：愛媛県立三島高等学校書道部

～行革にかける魂の一球！輝け愛媛の舞台で～

愛媛県では、市区町村の創意工夫あふれる取組を発表、表彰する「行革甲子園2026」を開催します。当日は、1次審査を通過した6団体がプレゼンテーションを行い、グランプリを決定します。全国の先進事例のノウハウや官民共創に関する特別講演を聴くことができるチャンスですので、ぜひ会場にお越しください。

8月28日 令和8年 **金**

12:30～17:00(開場12:00)

会場 **松山市民会館「中ホール」**
📍 愛媛県松山市堀之内

参加者募集!!

参加無料

対象者	全国の自治体関係者、公務員を目指す学生など
人数	400人(事前申込制・先着順)
申込方法	行革甲子園特設サイトの専用フォームからお申込みください。
申込期限	令和8年8月20日(木)



事例発表・審査・表彰

書類審査を通過した6団体によるプレゼンテーション

特別講演

講演者	小田理恵子氏(一般社団法人 官民共創未来コンソーシアム代表理事)
講演内容	官民共創は新たなステージへ—— ファーストモデルが未来を拓く

内容



LIVE配信
参加申込はこちら
(行革甲子園特設サイト)

お問い合わせ

愛媛県総務部市町振興課

〒790-8570 松山市一番町4-4-2

TEL:089-912-2216(直通) FAX:089-912-2209

E-mail:g-koushien@pref.ehime.lg.jp

主催 愛媛県

後援 全国知事会・愛媛新聞社・朝日新聞松山総局・毎日新聞松山支局・読売新聞松山支局・日本経済新聞社松山支局・産経新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・FM愛媛・愛媛CATV・時事通信社松山支局

市区町村名	取組事例名
利府町(宮城県)	全国初!水の官民連携レベル3.5による上下水道事業包括的民間委託
福井市(福井県)	「強制しない」が成果を生む、ナッジを活用した行政改革
塩尻市(長野県)	「教育委員会が学校へ引っ越し!？」 現場の心に火をつける学校の働き方改革
宇和島市(愛媛県)	地域の持続可能性の確保に向けた郵便局の利活用推進事業 (郵便局におけるオンライン診療・服薬指導事業)
北九州市(福岡県)	若者を「支援対象」から「共創パートナー」へ — 全国初「Z世代課」が挑む、行政のアップデート —
山鹿市(熊本県)	事務処理特例制度でルールを変えよう!! ～失敗もひとつの成果、まずはやってみよう～

最終審査の方法

一次審査を通過した6団体がプレゼンテーションを行い、6人の審査員による審査により、グランプリを決定します。



審査委員長
(一財)地域活性化センター特別顧問
椎川忍



東洋大学 教授
沼尾波子



愛媛大学 教授
太田響子



有限責任監査法人
トーマツ パートナー
小室将雄



日本大学大学院 教授
神井弘之



愛媛県知事
中村時広

応募状況

「行革甲子園 2026」開催にあたり、全国の市区町村から取組事例を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。

31都道府県 79市区町 89事例

応募事例の公表・共有

「行革甲子園 2026」の開催後、すべての応募事例を愛媛県ホームページに掲載します。また、大会概要等を掲載した事例集を作成するなど、事例の共有に努めます。

会場アクセス



バスでお越しの方・・・「南堀端」徒歩約3分
市内電車でお越しの方・・・「南堀端」徒歩約3分
「松山市駅」徒歩約10分
JR松山駅からお越しの方・・・徒歩約15分